| 学校番号 | T1206 |
|---|---|

# 令和８年度　　工業科

| 教科 | 工業 | 科目 | 製図・CAD実習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

決められたものをつくりにあたり、図面となるもののかき方を学びます。手書きでの製図やコンピュータを使用してのＣＡＤ（２Ｄ・３Ｄ）を行います。

評価は学習態度、実習成果、レポートなどで総合的に評価します。

２ 学習の到達目標

機械設計および製図（手書き・２次元・３次元CAD含む）に関する基礎的な知識と技術を習得し、機械・器具（ドラフター）パソコン（CAD）などを正しく使用し、機械部品などを創造的かつ合理的に図面を作成する。また、部品図・組立図・製作図・設計図（CAD図面）などを正しく読み取る能力と態度を育てる。
a:図面制作のための技術と理論の意義や役割を学習し、学習内容に関する基本的な知識や技術を身につける。
b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を考察し、解決に向け条件設定する能力を身につける。
c:学習内容に興味関心を持ち、意欲的に取り組むために実践的・意欲的な態度を身につける。

３ 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 製図を行う課程において、目標達成に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、機器やドラフター、２D・３DCADの原理や使用方法を理解し、その技術を適切に活用している。 | 図面完成のため、技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 | 図面の完成をめざして主体的に取り組もうとするとともに、目的完遂のための実践的な態度を身に付けようとしている。 |

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 手書き製図 | ドラフターの使用法<br>製図道具の使用法<br>線の練習<br>旋盤教材の作図<br>ボルト・ナットの作図 | a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。<br>b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。<br>c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 | 作品<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | 作品<br>ﾜｰｸｼｰﾄ | 学習観察<br>ﾜｰｸｼｰﾄ |
| 後期 | ＣＡＤ | ＣＡＤ（２Ｄ）の使用法<br>コマンドの練習<br>旋盤教材の作図<br>ボルト・ナットの作図<br>ＣＡＤ（３Ｄ）の使用法<br>旋盤教材の作図（３Ｄ） | a:学習内容に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、課題解決のための技術と理論の意義や役割を理解している。学習内容に関する技能が身についていて、適切に活用できる。<br>b:学習内容が実際の現場や社会に与える影響を見い出し、その解決に向け条件設定する能力が身に付いている。<br>c:学習内容の関連に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 | 作品<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>課題ﾚﾎﾟｰﾄ | 作品<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>課題ﾚﾎﾟｰﾄ | 学習観察<br>ﾜｰｸｼｰﾄ<br>課題ﾚﾎﾟｰﾄ |

※ 表中の観点について　a：知識・技術　　b：思考・判断・表現
c：主体的に学習に取り組む態度